

サステナビリティ
News Release2023年10月30日
日本空港ビルディング株式会社
東京国際空港ターミナル株式会社

ペットボトルの水平リサイクル「ボトル to ボトル」を推進！ 10月の3R推進月間より、ペットボトルの分別回収を強化



日本空港ビルディング株式会社と東京国際空港ターミナル株式会社は、3R推進月間*である10月より、一般社団法人全国清涼飲料連合会（所在地：東京都千代田区、会長：松尾嘉朗）と協働で、ペットボトルの水平リサイクル「ボトル to ボトル」の取り組みを推進します。

公共性の高い羽田空港旅客ターミナルの建設、管理・運営を担う当社グループの責務として「限りある資源の有効活用」をマテリアリティ（重要課題）に掲げ、それに資する取り組みとして「資源循環」を重要視しています。

これまでも羽田空港の旅客ターミナルでは、年間約120,000kg（推計値）のペットボトルを皆さまのご協力のもと回収していましたが、分別した後、リサイクル業者へと引き渡すことで「ボトル to ボトル」をはじめとする資源循環に努めてきました。

世界各国・日本各地から多くのお客さまが訪れる羽田空港で「ボトル to ボトル」の取り組みをさらに推進することにより、回収したペットボトルを、新しいペットボトルへと再生します。石油由来の資源を使ってペットボトルを製造する場合と比較し、リサイクル原料を活用した場合はCO2の排出量を約60%減らすことができます（原料樹脂ベース）。

今後も、さまざまな人が行き交う羽田空港旅客ターミナルの運営会社として、中期経営計画のビジョン「人にも環境にもやさしい先進的空港」を目指し、すべてのお客さまが安心してご利用いただけるターミナルづくりと取り組みを発信してまいります。

*循環型社会の形成に向けて、環境省を含む3R関係8府省が10月を「3R推進月間」として制定している。

【 羽田空港から発信する「ボトル to ボトル」の取り組み 】

① リサイクル BOX にパネル設置

資源循環の取り組みを推進するうえでは、各事業パートナーやお客さまとの連携と協力が不可欠であることから、全国清涼飲料連合会の協力のもと、ターミナル内の一部リサイクル BOX にパネルを設置。適切に分別されずに、一般ごみの BOX に排出されてしまっているペットボトルを、確実にリサイクル BOX へ取り込むことを目指します。



パネルイメージ

■設置箇所：羽田空港第1・第2ターミナル2階出発ロビーより順次設置
※今後、設置場所を拡大（予定）

② イベント「羽田 de リサイクル ～ペットボトルは、ボトルからボトルへ～」開催

全国清涼飲料連合会と協業し、取り組みについて楽しく学んでいただけるイベントを開催します。羽田空港から「ボトル to ボトル」の活動の普及・推進を図ります。

■期間：2023年11月10日（金）～15日（水）

■場所：羽田空港第2ターミナル5階フライトデッキトーキョー

■内容：「ボトル to ボトル」の取り組みに関する展示（常設）、クイズ、飲料配布コーナー（土日のみ、なくなり次第終了）



展示イメージ

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 サステナビリティ推進室 TEL:03-5757-8064 9:00-17:30（土日祝除く）

メディアからのお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 企画管理本部 総務グループ 広報・ブランド戦略室 TEL:03-5757-8030 9:00-17:30（土日祝除く）

東京国際空港ターミナル株式会社 企画部 TEL：03-6428-5901 9:00-17:30（土日祝除く）